

# 【別紙1】 ジョブ・カードのデジタル化の取組み（作成支援サイトの構築）

ジョブ・カードのデジタル化により、「① 利便性向上」「② 利用の継続性の確保」「③ 運用側からの接点の増加」を図る。

## 1. ジョブ・カードの現状と課題

### ① ジョブ・カードの現状と課題

- ① ジョブ・カードの更なる活用促進
- ② マイナンバーカードとの連携を含めたジョブ・カードのデジタル化

・キャリアコンサルティング時の相談支援ツールとして求職活動、職業能力開発などの場面で活用。作成者数は着実に伸長(令和2年10月末時点約263万人)

要改善

《利用者ヒア等の分析結果》

- 〈現在の課題〉
- 「キャリアの情報の蓄積が個人管理」
- 「ジョブ・カード作成までのハードル高い」
- 「ジョブ・カード作成・活用のメリットが見えにくい」
- 「利用情報が取得できず、サービスの向上につなげづらい」

### ② 取組みの目的・コンセプト

キャリア支援の社会インフラとしての機能・サービスの提供を強化

- ① 利便性向上
- ② 利用の継続性の確保
- ③ 運用側からの接点の増加

・ジョブ・カードをオンライン上で登録・更新できる新たな作成支援サイトを構築（民間クラウドサービス活用）

方向性

### ③ ロードマップ

令和3年7月 : 設計開発開始  
令和4年10月 : 試行運用開始  
令和5年1月 : マイナポータルとの連携開始

### ④ 想定される支援対象層・場面

・学生、在職者、中間層から中高年層  
・企業のキャリア支援場面 等

## 2. デジタル化に向けた取組み

### ① 新サイト（デジタル化に向けた取組）の概要

- ・基本機能…利用登録、ジョブ・カード情報登録・更新、出力
- ・作成支援機能…記入例の表示、例文の自動作成、作成方法等のガイダンス、自己診断等の各種コンテンツサービス
- ・その他機能…統計出力（利用状況等）、外部連携

機能の強化

### ② 利用者向け機能・サービス

- ① 利用者登録・ジョブ・カード登録機能による**キャリアの蓄積**
- ② UI改善、作成支援機能、ガイダンス機能による**ジョブ・カード作成のハードル低減とメリットの訴求**
- ③ 統計情報取得による**サービス向上**

### ③ 連携先システム（稼働当初～令和5年度）

- ・「日本版O-NET」、「ハローワークシステム」、「マイナポータル」及び民間企業を想定
- ・将来的な官民サイトとの連携を視野に、データ標準化や入力チェックの定義・実装
- ・連携件数の把握等の利活用状況のモニタリング実施（運用時）

連携の強化

### ④ 利用者普及に向けた周知・広報

- ・政策的ターゲットの各特性ごとに支援・広報のメリハリ
- ・求職者・在職者・学生を対象：「アクセス促進」、「作成促進」、「更新促進」の3ステップで周知・広報
- ・支援者（企業、学校、キャリアコンサルタント）を対象：「アクセス促進」、「理解促進」の2ステップで周知・広報

周知の強化

「アクセス促進」⇒リーフレットやポスターに加えて、SNS等各種媒体での広告や著名人を利用した広告  
「作成、更新、理解促進」⇒新サイトの作成支援機能やガイダンス機能の充実を中心に周知・広報

### ⑤ 今後の課題

- 〈機能・サービス〉
- ・利用状況や各種指標のモニタリングを踏まえた見直し（随時）
- ・作成補助機能を中心に、利用者アンケートや利用状況を踏まえた、機能改善（令和5年度以降）
- ・AI・ビッグデータの利活用（中期的検討）

### 〈連携先システム〉

- ・利用状況を踏まえ、既存連携先システムとの連携強化(中期的検討)
- ・他サイトとの連携強化を図るためのデータマネジメント（随時）

### 〈周知・広報〉

- ・利用状況など各種モニタリング結果を踏まえた見直し（随時）